

# 特種情報処理技術者試験 (Systems Engineer Examination) (昭和 46 年～平成 5 年秋期)

## 1. 趣旨

1種、2種はいずれもプログラマを対象とした試験であり、情報処理技術者のなかで重要な役割を担うべき、情報処理システムの分析、設計に従事するシステムエンジニアを対象とする試験は行われていなかった。近年の我が国の情報処理の急速な発展に伴い、システムエンジニアの不足が強く訴えられており、その育成策を早急に講じる必要があるため、昭和46年度から情報処理技術者試験制度を拡充し、システムエンジニアを対象とする特種情報処理技術者試験を実施する。

## 2. 対象及び水準

情報処理システムの分析、設計に主として従事する者を対象とし、大学卒業程度の一般常識を有し、3年程度以上の実務を経験し、それぞれの専門分野と電子計算機についての知識を有し、情報処理システムの分析と設計を行い得る者を想定して試験を行う。(システムエンジニア対象)

## 3. 試験科目

- (1) ソフトウェアの知識
- (2) 情報処理システムの設計能力
- (3) ハードウェアの知識
- (4) 関連知識

## 4. 試験時間、試験方法

- (1) 午前 150 分(9:30～12:00) : 多肢選択式
- (2) 午後 I 90 分(13:00～14:30) : 記述式
- (3) 午後 II 120 分(14:50～16:50) : 論述式

## 5. 受験資格

25 歳以上の者(当該年度の4月1日現在)

## 6. 応募者、受験者、合格者

- (1) 応募者数累計: 314,639 名
- (2) 受験者数累計: 173,438 名
- (3) 合格者数累計: 14,114 名(合格率: 8.1%)